

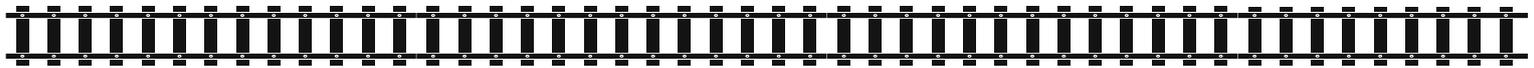
補助犬ユーザーから学ぶ！

～鉄道従業員として知っておきたい接遇の極意～

2024年5月15日(水)、名古屋鉄道さんの全面協力で、実際の車両やホームを利用した鉄道事業者向け研修を実施しました。



冒頭の全体研修では、各補助犬ユーザーさんから鉄道を利用した経験談をお話いただきました。介助犬ユーザーさんからは、「ふと思い立って、近県に旅行に行った際も、どこの駅でもスムーズに対応してもらって、楽しい旅行の思い出を作れました。」と嬉しい声を聞くことができました。



厚生労働省のウェブサイトでは、上記の研修の様子に加えて、大胡田誠弁護士による法令解説(身体障害者補助犬法、障害者差別解消法)の動画をご覧ください。



「弁護士による法令解説」

盲導犬ユーザーである奥様との体験談なども交えながら、わかりやすく「身体障害者補助犬法」と「障害者差別解消法」についてお話しています。補助犬法の3つの柱、障害者差別解消法の2つの柱とは、それぞれどのようなものなのか、ぜひ動画をご覧ください。

介助の実技研修

盲導犬ユーザーは改札～乗車までのサポート、介助犬ユーザーは乗降時のスロープの取り扱いを含めたサポート、聴導犬ユーザーは緊急時の声のかけ方を実施しました。実際の駅員の皆さんに、ユーザーさんをご案内いただきながら、研修した様子をご覧ください。



盲導犬は視覚に障害がある



TOPIC

2

コモンズ投信 社会起業家フォーラムに登壇



2024年10月6日にコモンズ投信株式会社が主催する「第16回コモンズ社会起業家フォーラム」にて、当会専務理事兼事務局長の橋爪智子が、7分間のスピーチをさせていただきました。

テーマは「あなたは今、何を守りたいですか？～そのために何に挑みますか？～」

補助犬とインクルーシブ社会の重要性について、実体験を交えながらお話しさせていただきました。当日は、多くの方から活動への励ましのメッセージをいただくことができ、とても貴重な機会となりました。

また、このフォーラムの登壇がきっかけで、当会が2025年度コモンズSEEDCap応援先最終候補者に選んでいただきました。1年間、コモンズ投信の皆さんと一緒に活動することにワクワクしています！



←橋爪のスピーチはQRコードより
ご覧いただけます。
(CC字幕あり)

TOPIC

3

小中高、大学への講演活動

2024年度も様々な学校からお声がけをいただき、計39校、資料配布も含めると約8,300名の子どもたちに補助犬やUD(ユニバーサルデザイン)について伝えることができました。

講演後に子どもたちから届くお手紙の数々は、活動を継続していく上で、とても大きな原動力になっています。2025年度もより多くの子どもたちに補助犬のことを伝えてまいります。

年度	小学校	中学・高校	大学	資料配布	合計
2024年度	16校 約1,950名	16校 約1,200名	7校 約650名	約4,500名	39校 約8,300名





2024 ほじょ犬の日 啓発シンポジウム
災害支援と障害者—インクルーシブで防災への挑戦—

身体障害者補助犬を 推進する議員の会の活動

アドボカシー

2024年5月21日開催 2024ほじょ犬の日啓発シンポジウム

2024ほじょ犬の日啓発シンポジウムを5月21日に開催しました。

第一部

災害支援と障害者

～インクルーシブ防災への課題～

講師:阿部 一彦氏 (日本障害フォーラム代表、東北福祉大学名誉教授)
■特別報告:小笠原 光峰氏 (浜松市消防航空隊)

障害理解が不十分だと、避難生活には大きな困難が生じます。インクルーシブ防災を進めるためには、普段の暮らしやすいまちづくりが大切です。



消防航空隊による救助は最後の砦です！
障害のある方にとって身体の一部でもある補助犬と一緒に救助することがスタンダードとなるよう、これからも取り組みを進めていきます。



第二部

どう変わった？ 改正障害者差別解消法

～障害者権利条約に照らして～

講師:大胡田 誠氏 (弁護士 おおごた法律事務所)
川内 美彦氏 (東洋大学人間科学総合研究所客員研究員)



合理的配慮は、ゼロをプラスにするのではなく、マイナスをゼロに持っていく取り組みです。大切なのは「対話」を通して、バリアを越えていくことです。

合理的配慮とは、決まったパターンや正解があるわけではありません。「建設的対話」を、障害のある人と事業者が重ねていくことが重要です。



2024ほじょ犬の日啓発シンポジウム

日程:2024年5月21日
場所:衆議院第一衆議院会館多目的ホール
主催:身体障害者補助犬を推進する議員の会
(会長:田村憲久/事務局長:阿部知子)
共同事務局:日本補助犬情報センター

補助犬法20年のあゆみ

<https://www.isdrc.jp/doc-manual/hojokenhou-20nen-kinenshi.pdf>





熊本県防災消防航空隊と訓練

普及啓発

防災

今年度は、熊本県防災消防航空隊さんと「盲導犬ユーザーと盲導犬のヘリコプター吊り上げ救助訓練」に協力しました。

12月に駐機訓練・実機訓練を実施することができました。今回は九州盲導犬協会の訓練士さんとPR犬に加え、熊本県の盲学校で教師をされている盲導犬ユーザーさんにもご協力いただきました。ほとんどの隊員さんが視覚に障害がある方と接するのは初めてとのことで、とても緊張されていたようですが、ひとつひとつの動作を丁寧に説明してくださり、ユーザーさんに安心してもらいたいという気持ちを感じました。冒頭の写真は、駐機訓練の際にユーザーさんにヘリコプターの間口を実際に触ってもらって、大きさをお伝えしている様子です。一刻を争う救助時は、このように丁寧に説明することはできないかもしれません。



しかし、時間がある時には、こういった説明で安心してもらうことができる、ということを知っておくことはとても重要だと思います。2025年度も引き続き各地で訓練に協力してまいります。





インターン体験記

普及啓発

2024年度は神奈川大学国際日本大学から2名、ヤマザキ動物看護専門職短期大学から1名の計3名インターン生を受け入れました。

3人には主に、イベントの準備や当日の運営に関わってもらいました。10月開催の【トントウフェス@メッツァビレッジ】、12月開催の【チャレンジドWeekフェス2024】、3月開催の【ほじょ犬を知ろう！in浦安】などで、ワークショップの運営を担当してくれました。

3人の健闘ぶりは、当会のnoteで公開しています。それぞれがどんなことを感じたり、学んだりしてイベントに参加したのか、ぜひ皆さんにご覧いただけたら嬉しいです。

神奈川大学2年生 あやかさん



持ち前のコミュカで、イベントの呼び込みはお任せあれ！
元気に補助犬やユーザーさんのことを皆さんにお伝えしました。
イベントでは、ほじょ犬×うんこドリルのブースを担当してくれました。



←noteの記事は
こちらから！

神奈川大学2年生 たまちゃん



最初は「補助犬って保護犬のこと？」
と思っていたけれど、インターンをするようになってからは、補助犬についてめきめきと知識を習得中。可愛いイラストを描くことや、誰かを褒めることがとても上手。
イベントでは、点字で名刺を作ろう！のブースを担当してくれました。



←noteの記事は
こちらから！

ヤマザキ動物看護
専門職短期大学 こはるさん



動物看護師になるための勉強をしながら、補助犬の普及啓発にも関心を寄せてくれており、インターンに出来ました。全10日間の日程で、事務作業からイベント準備まで抜群の集中力でこなしてくれました。
イベントでは、盲導犬ユーザーさんのアテンドなどを担当してくれました。



←noteの記事は
こちらから！



ほじょ犬啓発イベント

- ①東京タウンソラマチ
- ②メッツァビレッジ
- ③イオンモール堺北花田 普及啓発

2025年3月16日開催 ほじょ犬ってなあに？in大阪

2024年度の補助犬啓発イベントは、「東京タウンソラマチ(東京都)」「メッツァビレッジ(埼玉県)」「イオンモール堺北花田(大阪府)」の3か所で実施しました。

東京タウンソラマチのイベントでは、栗山龍太さん&盲導犬アンジーによるスペシャルライブを開催。会場には、翌日パートナーの引退を控えた補助犬ユーザーさんがいらしたのですが、盲導犬との別れについて歌った栗山さんの「僕の取り柄と盲導犬」の歌に涙…。

そして、大阪府でのイベントには、大阪府副知事で広報担当の「もずやん」が補助犬イベント応援隊として出演してくれました。イベントが始まる前に、子どもたちや補助犬ユーザーさんたちとの記念撮影に協力してくれました

2025年度も引き続き全国3か所でのイベントを予定しています。



身体障害者補助犬啓発イベント

- ①2024年5月19日 東京タウンソラマチ®
協力:東武タウンソラマチ株式会社、(公財)日本盲導犬協会、千葉介助犬協会
- ②2024年10月26日 トントウフェス@メッツァビレッジ
協力:ディーセントワーククラブ、(公財)日本盲導犬協会、千葉介助犬協会、(公社)日本聴導犬推進協会
- ③2025年3月16日 イオンモール堺北花田
協力:イオンモール堺北花田、(社福)日本ライトハウス盲導犬訓練所、(特非)兵庫介助犬協会、(一社)Dog for Life Japan、大阪保健医療大学、四條畷学園大学

主催:厚生労働省
共催:大阪府(*3/16大阪イベントのみ)
企画・監修・運営:日本補助犬情報センター



Q2.



もっと社会が補助犬に「ウェルカム!」になるアイデアとは?

Q&I

～問いとアイデアが出会う場所?!～

普及啓発

コラボ



”Q&I”は、リアルな問いに対して、みんなで自由にアイデアを出しあう仕組みです。社会課題のひとつに補助犬のQを掲載いただきました。現在、補助犬のQには、「ワンワンボイス(ONE WAN VOICE)」のIが寄せられています。Iはどなたでも投稿可能です。みなさんからのステキなIをお待ちしています。



子ども霞が関見学デー

普及啓発

#厚生労働省
#子どもの教育

今年も8月7日-8日、子ども霞が関見学デーが開催されました。7日は、3名の補助犬ユーザーさんにご協力いただき、子どもたちに向けて補助犬のお仕事紹介、ユーザーインタビューを実施しました。また、東京都人権プラザさんの全面協力のもと、「いっしょに生きる～身体障害者補助犬法成立から20年～」の展示や、うんこドリル×ほじょ犬の体験コーナーも設置し、大変好評をいただきました。

4月1日は April Dream



PRTIMES企画

AprilDream2024

～1万人の子どもたちに補助犬のことを伝えたい!～

普及啓発

コラボ

#PRTIMES
#AprilDream
#補助犬Welcome



QRコードから、リリースの内容をご覧ください。

当会は、PRTIMES社が企画する4月1日を夢を発信する日にしようとするApril Dreamに賛同しています。補助犬法が成立して20年以上が経過しても、なくなる同伴受け入れ拒否…。そんな現状を少しでも打破するために、私たちは特に学校教育において子どもたちが補助犬の役割や法律、障害がある人のことについて学ぶ機会を持ってもらいたい、そんな思いで2024年度のApril dreamとして「1万人の子どもたちに補助犬のことを伝えたい!」を発信しました。

リリース本文には、介助犬ユーザー木村佳友、聴導犬ユーザー松本江理からのコメントも掲載しています。ぜひQRコードからご覧ください。

AprilDream2024

～1万人の子どもたちに補助犬のことを伝えたい!～

日程:2024年4月1日リリース

▶TV出演・協力

- ・ 鉄道会社の社員が「補助犬」を学ぶ研修(NHK東海／2024年5月15日)
- ・ 鉄道会社の駅員らが補助犬ユーザーへの声のかけ方や乗車を補助する際の対応学ぶ(メーテレ／2024年5月15日)



▶新聞

- ・ 福祉新聞「身体障害者補助犬をうんこドリルで学ぼう 厚労省がオンライン教材公開」(2024年4月12日)
- ・ 中日新聞「補助犬との乗車、困り事は？ 名鉄・大江駅で厚労省研修」
- ・ 福祉新聞「身体障害者補助犬「知る」から始めよう 議連、災害支援で集会」(2024年6月3日)
- ・ 熊本日日新聞「盲導犬 無事“救助” 県防災航空隊視覚障害者対象の訓練」(2024年12月2日) ほか

▶外部セミナー等

- ・ Beyondカンファレンス(2024年6月1日)
「もっと社会が補助犬に「ウェルカム!」になるアイデアとは? Q&I体験」
- ・ 第16回コモンズ社会起業家フォーラム(2024年10月6日)
「あなたは今、何を守りたいですか?~そのために何に挑みますか?~」
ほか

▶WEB

Q&I: もっと社会が補助犬に「ウェルカム!」になるアイデアとは?



▶メディアリリース

- ・ 「1万人の子どもたちに補助犬のことを伝えたい!」
- ・ 補助犬とユーザーのヘリコプター救助訓練を担当した隊員の声
- ・ チーバくんも応援!「ほじょ犬を知ろう!」イベント開催(千葉県浦安市)
ほか

▶調査・研究

- ・ 令和6年度障害者総合福祉推進事業
「身体障害者補助犬の効果的な普及・啓発に関する調査研究」
(採択:社会システム株式会社)への協力



情報公開

財政・会計や、活動に関する詳しい情報は、NPO法人日本補助犬情報センターのWEBサイトにて公開をしています。

経常収益 ¥10,275,235

会費	¥693,000
寄付	¥4,750,084
啓発事業収入	¥4,762,887
その他	¥69,264

経常費用 ¥13,501,658

啓発事業費	¥908,960
その他事業費	¥11,091,310
管理費	¥1,501,388



日本補助犬情報センターは持続可能な開発目標に取り組んでいます



日本補助犬情報センターでは、持続可能な開発目標 (SDGs)の取り組んでいます。

当会専務理事兼事務局長の橋爪智子が、カードゲーム「2030SDGs」(*)の公認ファシリテーターとして、20横浜市の学校や団体等でプログラムを提供しています。自分たちの利益だけを追求しても、豊かな社会は実現しません。『誰一人取り残さない』というSDGsの概念を体感していただくためのプログラムを、引き続き多くの方にご提供していきたいと思ひます。



*このゲームは、「お金を増やす」「環境を守る」などチーム(国)ごとに設定されたゴールに向かい、「時間」や「お金」のカードを使って様々な社会活動(プロジェクト)を実施するもの。それぞれの行動の結果で世界の「経済」「環境」「社会」にどのような影響があるかを考えることができる。

寄付・会員加入のお願い

会員になる

日本補助犬情報センターの会員
年会費:3,000円
クレジットカードからの
自動引き落としでの登録等が可能です

会員申し込みサイト

<https://syncable.biz/associate/ganba0hojoken/donate/membership>



寄付をする

ご希望の金額で
寄付をすることができます。
クレジットカード、銀行振り込み等での
ご寄付が可能です。

寄付申し込みサイト

<https://syncable.biz/associate/ganba0hojoken/donate>



寄付金・会費は日本補助犬情報センターの活動に活用させていただきます。

例えば..



学校への講演活動



普及啓発イベント

NPO法人日本補助犬情報センター

設立：1997年12月1日

住所：神奈川県横浜市港北区新羽町1688-1-B203

WEB：<https://www.jsdrc.jp>



- 理事長**：吉田文 大阪保健医療大学 作業療法学専攻 教授(作業療法士)
- 副理事長**：木村佳友 日本介助犬使用者の会 会長(介助犬使用者)/関西学院大学 非常勤講師/宝塚市大使
山崎恵子 一般社団法人 アニマルリテラシー総研 代表理事/ペット研究会「互」代表
- 理事**：佐鹿博信 横浜市立大学 名誉教授/横浜市立大学 医学部 リハビリテーション科 非常勤講師
野口裕美 四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 教授(理学療法士・作業療法士)
入交眞巳 東京農工大学 特任講師/どうぶつの総合病院 行動診療科 主任
釜井利典 社会福祉法人 北摂杉の子会 ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ 就労支援員
松本江理 日本聴導犬パートナーの会 副代表(聴導犬使用者・社会福祉士)
田中久理子 社会福祉法人三鷹ひまわり会 指定特定・指定一般相談支援事業所ひまわり(管理者・相談支援専門員・社会福祉士)
- 専務理事
兼
事務局長**：橋爪智子 2030SDGs公認ファシリテーター
WSD青山学院大学ワークショップデザイナー
日本ファンドレイジング協会公認・準認定ファンドレイザー/社会貢献教育ファシリテーター
- 監事**：木村美智子 医療法人社団 緑水会 北摂中央病院(臨床検査技師)
瀬上倫弘 横浜市立大学 客員研究員/認定NPO法人こまちがらす 監事/認定NPO法人エンパワメントかながわ 監事

Supported by...



Create
A Happy



Society
Together

@JAMMIN



特定非営利活動法人
日本補助犬情報センター
JAPANESE SERVICE DOG RESOURCE CENTER